

平30年度広島市立広島特別支援学校第1回学校協力者会議概要

1 日 時 平成30年6月29日（金）（10:00～11:30）

2 場 所 広島市立広島特別支援学校 校長室

3 内 容

- (1) 学校長挨拶
- (2) 配付資料確認
- (3) 運営規程説明
- (4) 委員・学校事務局員紹介
- (5) 委員長・副委員長の選出 所属部会の決定、部会長の選出
ア 委員長 江上 正明氏（元広島市立山田小学校長）
イ 副委員長 林 武広氏（比治山大学現代文化学部子ども発達教育学科教授）

(6) 委員長挨拶

(7) 協議

ア 学校の現状についての説明

① 学校経営方針

- ・ 授業の振り返りや児童生徒の情報交換を行い、適切な指導、支援の充実に心掛け、専門性の向上に努める。
- ・ 生徒指導部を中心に、いじめの未然防止、早期発見、適切な対応を目指し、いじめのない学校にしていく。
- ・ 地域に開かれた学校づくりを進め、出島、宇品地区の皆様との連携を更に深めていく。
- ・ 歯と口の健康づくりについては、学校医、広島大学との連携を図りながら、今後とも継続的に進めていく。

② 児童生徒、教職員の状況

- ・ 小学部146名、中学部97名、高等部284名、合計527名、103学級でスタートした。教育相談主任を1名、事務員を1名、看護師1名を増員した。スクールバスは、2台増やし、23台となり、介助員4名を増員し、46名となった。また、安全対策として警備員を新たに3名配置した。

③ 進路状況について

- ・ 高等部卒業生95名中37名が企業就労（39%）している。今後とも丁寧な進路指導を進めていく。

④ その他

- ・ 出島町内会の皆様に本年度も3台のiPadを寄贈していただくことになっている。第22回視聴覚教育総合全国大会、第69回放送教育研究会全国大会に向け、日々の授業実践で有効に活用していきたい。
- ・ 体罰事案について、保護者説明会を行った。意見をまとめ、再発防止策を策定し、信頼回復に努めている。
- ・ 公共建築賞・優秀賞を受賞した。夏休みに審査員が来校され、第二次審査していただくことになっている。
- ・ 余暇活動の充実を目指し、文化・スポーツ振興係を本年度も設置し、各種大会の出場に向け、練習している。
- ・ 本校生徒が、知的障害者のサッカーの国際大会（スウェーデン）に、日本代表として出場することになった。
- ・ 胸章の試作品を、B型の事業所で働いている本校の卒業生に製作していただいた。学校で活用できないか、検討している。

イ 意見交換、提言等

- ・ 特別支援学校のセンター的機能を発揮するために、幼小中高に出向いていくことは、大切な取り組みである。
- ・ 放課後等デイサービスの利用件数は、増加している。学校・家庭と連携していく必要がある。
- ・ 卒業生がどのように現場で活躍し、学校で学んだことをどう発揮しているのかが分かるような情報の発信をしてほしい。
- ・ 学校教育目標で、実践的指導力が高まった姿とはどんな姿なのか、具体的なイメージを共有することが大切。
- ・ 学校の常識と地域の常識とを上手にすり合わせていきながら、よりよい関係を築いていくことが必要である。
- ・ 学校教育法等、コンプライアンスの遵守は、社会的に求められているので、法令の理解に向けた研修が必要。
- ・ 学校経営計画の成果指標に成果目標がなく、アンケート項目も多い。アンケート項目を精選し、成果物や実施回数など具体的な数値目標をあげて評価していくことが望ましい。

(8) 委員長挨拶

(9) 学校長挨拶